脳梗塞の治療を受けた患者さんへ

大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	当院における機械的血栓回収療法に関する臨床レジストリの構築
研究責任者	大牟田市立病院　脳神経外科 責任者名：　山下　伸
研究の目的と意義	虚血性脳卒中に対する機械的血栓回収療法は、大血管閉塞症例の転帰を劇的に改善する標準治療として確立されています。機械的血栓回収療法の有効性は発症から治療開始までの時間に強く依存するため、地域医療圏における迅速搬送・受け入れ体制の構築が不可欠です。 当院は福岡県有明医療圏の中核病院の一つとして、機械的血栓回収療法の実施の大部分を担っています。当院における先行研究の分析において、近隣医療機関で血栓溶解療法施行後に当院へ転送される症例の割合は低く、大部分の患者が、初期救急段階から直接当院に搬送されるケースが多い状況です。このような地域特性下においては当院搬入後の院内フローの迅速化が、患者予後を左右する最も重要な要因となります。このため当院では、これまで搬入後のシームレスな診療・治療以降を目指した「院内プロトコール」を作成し、実践・運用を重ねてきました。 今後は、当院において 2015 年以降の機械的血栓回収療法施行患者を対象に、その臨床情報やタイムライン、手技、予後などに関するデータを標準化・一元管理するため、臨床レジストリを構築し、持続可能な運用基盤を確立していきます。 ＊この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。
調査データ 該当期間	2015 年 1 月から 2026 年 3 月までの情報を調査対象とします
研究の方法 （使用する試料等）	●対象となる方 受診科　：大牟田市立病院脳神経外科 対象疾患：脳梗塞と診断され機械的血栓回収療法を受けた方 ●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

	●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します
情報の保護	研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。 対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。
外部への情報提供	外部への情報提供は行いません
利　益　相　反	利益相反とは、外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のことを指します。 本研究では、特定の企業等からの資金提供は受けていません。
試料・情報の提供のの辞退に関するお申し出先・お問い合わせ先	大牟田市立病院　部署：脳神経外科 研究責任者：山下　伸 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）
備考・その他	